

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もあり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

●会費:1口500円～/月 ●お一人様、何口でも寄付できます

●会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員の申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人
礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>



子どもたちとお出かけです! (カンボジア)

毎月毎月、温かい愛のご支援を継続してサポートしてくださっている皆様、心から感謝いたします。7月にカンボジア孤児院の責任者をしていましたルツ前田克子さんが一時帰国され、8月12日にカンボジアに再び行かれました。

もうすでに、ご存知の方も多いと思いますが、カンボジア孤児院では、11月、12月分の運営費のために、支援が必要となっています。それは3年ごとに更新する必要があるカンボジア政府からのNGO団体としての認可を受け続けるためです。その為に、2か月分の運営費として、活動資金を提示する必要があるのです。

具体的には、子ども達の授業料、生活費、食費、医療費、スタッフへの給与のためで、約136万円が10月中旬までに必要となっています。どうか、皆様の温かいサポートを、よろしくお願いします。ザンビアをはじめフィリピンや他の国々にも、まだまだ多くの必要があります。今までの皆さまの温かいサポートを心から感謝しています。

孤児の子どもたちのために、更なるご支援を、どうぞ、よろしくお願いいたします。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 木原 真

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。1年間の学校での学びを終え、新学期までの休みの間に、今年も子ども達とスタッフとともに遠出することが出来ました。プノンベン市から車で片道3時間ほど離れている標高約700メートルのところにある国立公園に行ってきました。そこは風がとても強く、そして涼しく、それは普段の暑さを忘れるほどでした。緑あふれる美しい自然の景色に囲まれ、子ども達も思っていた以上に喜んでくれました。また、とてもきれいなプールがあり、目の前に広がる自然の景色を眺めながら泳ぐという、普段ではなかなかできない体験もしました。子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごせたことを、心から感謝しています。9月からは、それぞれの学校で新学期が始まりました。中学3年生まで学んだPNは、これから職業訓練校で理容師を目指して学ぶことになりました。自立に向けて少しずつ具体的な準備が始まります。限られた時間の中でも、良い学びと準備ができるよう願っています。新しい1年の学びが1人ひとりにとって祝福されたものとなるようお願いながら、これからも皆様の温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



プールで大はしゃぎの子どもたち!

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の常日頃の温かいご支援に心より感謝申し上げます。3学期が穏やかに始まりました。子どもたちが元気に学校に戻って来てくれている姿に安心すると同時に、給食費用の不足問題にとっても頭を悩まされています。運営費の不足は、主に円安が原因で、以前に比べて40%ほど減ってしまっている状況が続いています。どうか皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。話しは変わりますが、両親も、面倒見てくれていた叔母さんも病気で失い、非常な困難な中生活していて、私たちが重点的に支援してきた中3のカーティス君が、荒れに荒れて、警察を巻き込む問題を起こし、学校に来ることを止めてしまいました。制服も自分で燃やしたそうです。問題は複雑で、ここには書ききれないのですが、行く場のないこのような子どもたちのために、中等高等学校には寄宿舎を建てることも一つの目標としてきました。今の私たちにはできることは限られているのですが、このような子どもの苦しみに関わり添い守るという使命をさらに燃え立たせていかなければ、と考えています。



3学期始まって最初の朝ご飯。
家で食べられない子達は幸せそう

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

先日「SP CHILDREN OUTREACH」と言う集会に参加し、支援を必要としている子どもたちへの働きに関して学ぶ機会が与えられました。これを通して、どこへ行っても助けを必要としている子どもたちがいることを改めて実感し、恵まれない状況にある子どもたちにできる限り手を差し伸べ、さまざまな面から支えていくことの大切さを学びました。今フィリピンではインドネシアからの煙霧(ヘイズ)による呼吸器への悪影響を防ぐため、子どもたちはマスクの着用が求められています。幸い、私たちの地域では今のところ影響はなく、主にダバオ市中心部や北部で確認されています。2026年度の授業も第2四半期に入りましたが、まだ学用品や学校への支払い等のため5,743.93米ドルの支援を必要としています。この必要を満たすための資金集めにご協力頂いている皆様に、心より感謝致します。引き続き皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。皆様とご家族の上に、さらに豊かな祝福と健康、守りがありますように。



(上) 高校の授業風景
(下) フィリピン現地スタッフのエレノア

松本弘子さんのイラスト



猫と遊ぶカンボジア孤児院の男の子たち

礎の石孤児院 公式アプリ

支援情報・活動レポートを
アプリでいつでも確認できます。



礎の石孤児院 × Congrant寄付

ワンクリックで、今日から支援を
始められます。
子どもたちの笑顔を、あなたの
寄付で守ってください。

